

# 事業評価シート（平成25年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	応急手当の普及・啓発事業		
事業担当	消防本部 消防救急課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'01	①〈安全〉災害に強い安全なまちづくりを進める	
	'03	3 迅速かつ的確な消防・水防と救急・救助、救援の体制を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働： ひらつか応急手当協力会】		
	目的・目標		事業の概要
講習受講修了者数が増え、救命率の向上が図られています。		救急患者の救命率向上のため、応急手当講習会、普通救命講習会を実施します。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	普通救命講習会開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	160	160	160	160	
	実績	160	238	158		
活動指標②	指標名	応急手当講習会開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	70	70	70	70	
	実績	56	64	57		
成果指標①	指標名	普通救命講習修了者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	4300	4300	4300	4300	
	実績	3021	3879	2713		
成果指標②	指標名	応急手当講習修了者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	2450	2450	2450	2450	
	実績	2488	3284	2378		
進捗状況	②：若干遅れている					
	遅れている理由	事業所等からの申込みが減ったため。				
平成25年度の主な取組と成果						
普通救命講習を158回（受講者数2,713人）、応急手当講習会を57回（受講者数2,378人）実施し、応急手当の知識や技術について普及啓発を図りました。						
平成25年度の検証結果	B：おおむね成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市民ニーズ</li> <li>■ 事業目的の達成状況</li> <li>■ 市の関与の必要性</li> <li>□ その他</li> </ul>	<p>応急手当に関する市民ニーズが高まる中、普通救命講習会、応急手当講習会を開催し受講者が増えることにより、救命率が向上することから事業の必要性は高いと考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高</li> <li>○ 低</li> </ul>
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 上位施策への貢献</li> <li>■ 市民満足度を高める方策</li> <li>■ 継続による成果向上の可能性</li> <li>□ その他</li> </ul>	<p>普通救命講習会、応急手当講習会を受講することにより、救命処置への関心が高まり、自動体外除細動器(AED)を使用できる人が増えるため、事業の有効性が高いと考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高</li> <li>○ 低</li> </ul>
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業の目的、対象、内容</li> <li>□ 受益者負担、補助額</li> <li>■ 業務の執行体制(人員配置、業務分担)</li> <li>□ その他</li> </ul>	<p>応急手当普及員講習会は指導員の資格が必要であるため、消防職員が実施します。普通救命講習会、応急手当講習会は消防職員及び応急手当普及員が実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高</li> <li>○ 中</li> <li>○ 低</li> </ul>
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 業務プロセス改善による効率化の方策</li> <li>□ コスト削減の可能性</li> <li>■ 事業手法(民活の余地、事業形態の検討)</li> <li>□ その他</li> </ul>	<p>事業所に対し応急手当普及員講習会を実施することにより、事業所内の普通救命講習会受講者の増員を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高</li> <li>○ 中</li> <li>○ 低</li> </ul>
<p><b>今後に向けた課題の分析</b></p> <p>救急患者の救命率の向上のためには講習会修了者や応急手当普及員の増加が必要です。また、大人だけではなく、意識を広めるためという意味でも将来を担う小中学生を対象に事業を展開する必要があります。</p>				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額
事業内容		講習会の開催	講習会の開催	講習会の開催	講習会の開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	1,407	1,525	1,423	1,424
事業費 (A)		1,407	1,525	1,423	1,424
執行率 (%)		91.72	98.32	98.34	
内訳	職員 (人)	0.50	0.50	0.50	0.50
	再任用 (人)	0.80	0.80	0.80	0.80
	人件費 (B)	6,741	6,730	6,696	6,669
フルコスト (A+B)		8,148	8,255	8,119	8,093

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<p><b>平成27年度の取組方針</b></p> <p>市民の力を活用して応急手当の普及啓発を実施するために、指導員有資格者の増員を図ります。また、小中学生を対象にした応急手当講習会の開催をすることにより、命の大切さや救命技術・知識について普及啓発を図ります。</p>
<p><b>課長コメント</b></p> <p>普通救命講習、応急手当受講者の増員を図るとともに、小中学生対象の講習会を実施し、更なる救命率の向上を目指します。</p>